

# プロフィール

## 【講師プロフィール】

マーク加藤先生

•マーケティング及びビジネスデベロップメントの専門家

•主にアメリカの大企業（Hewlett Packard, Agilent Technologies, Advanced Micro Devicesなど）に従事し、日本で12年、シリコンバレーで30年のビジネス経験あり。

•現在Silicon Valley-Japan Business Consulting ([www.svjbc.com](http://www.svjbc.com)) のCEOとして日米間のビジネスに関するコンサルティングをアメリカおよび日本企業に対し実施。



## 【先駆企業】

Hilltop株式会社

<http://hilltop21.co.jp/>



•1961年創業のHILLTOP(株)。多品種単品無人化加工システム（ヒルトップシステム）を独自に開発し、アルミを中心とした切削部品の1点ものを月約3000種類製作。新規5日リピート3日の短納期製造サービスで、航空宇宙・自動車・医療・映画音楽など幅広い産業分野に試作品・一点もの加工品を提供。

•カリフォルニア州アーバインを拠点に2014年四月に営業開始後、約2年半でディズニー、NASA、ルシッドモーターズ、クリーブランド・ゴルフ、ウーバーなどのを含む大中小規模の企業約300社との取引を行う。2016年にはシリコンバレー・サンタクララにオフィスを開業。

## 【運営サポート】

シリコンバレーD-Lab

（下田 裕和、井上 友貴、森 俊彦、木村 将之）

- シリコンバレー発で新規事業を推進させるために集まった有志活動
- 経産省、業界リーダー、スタンフォード大学などの協力を得ながら、モビリティ産業に起こっている破壊的イノベーションの現状を正しく伝え、新たな事業機会の提案を行う
- D-Labプロジェクトレポート（経産省）自動車産業を襲う破壊的影響とビジネスチャンス  
<http://www.meti.go.jp/press/2017/04/20170404002/20170404002-1.pdf>

## 【有識者サポート】

ビーンズインターナショナル社長  
遠藤 吉紀氏



- 電子機器製造プロセス向け検査機器メーカーの米国法人駐在員として1988年に渡米。10年間の駐在員生活の後独立し1999年、サンノゼにビーンズインターナショナルを設立。アメリカ、メキシコの車載電装品等の製造企業へ日本の優れた品質管理商材を販売。
- IT、グリーンテック、EV革新、IOT等、次世代産業の中心地であるシリコンバレーに日本の中小企業の優れた製品と技術の参入を実現すべく、行政団体とも連携して活動。同地で28年間にわたり製造業に携わってきた稀有な存在。
- JTERO シリコンバレーイノベーションプログラムアドバイザー。中小企業基盤整備機構国際化支援アドバイザーを兼任。